

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	周 東魯
題 目	中国における農業関連企業が主導する三産融合の展開に関する研究 (A Study on the Development of Three-Industrial Harmonization led by Agriculture related Companies in China)
<p>中国政府は「三農問題」を解決するために、2015 年の中央 1 号文件で三産融合を打ち出した。三産融合は「三農問題」の重要な解決手段として位置付けられている。三産融合に関して以下の点を解明した研究は管見の限り存在しない。三産融合は農業関連企業の経営多角化戦略に基づき構築されているが、経営多角化戦略の観点から三産融合の方式を整理及び分類したものがない。また、三産融合にはその発展を通して、農村地域の活性化と農民所得の向上を達成することが期待されているが、地域特産物を活用する三産融合は「三農問題」へどのような効果をもたらしているのかを分析したものがない。さらに、新型農業経営主体のうち農業関連企業はどのように経営を展開し、農産物の生産、加工、流通の各段階にどのような影響を及ぼしたのかについて分析した研究がない。最後に、三産融合に関わる農民の評価について明らかにしたものがない。</p> <p>そこで、本研究では、三産融合の展開を経営多角化戦略の観点及び三産融合に関連する政策との関係から整理し、地域特産物を活用する農業関連企業主導の三産融合の「三農問題」及び関連主体への効果を解明することを課題とする。</p> <p>その結果として、第二章では、農業関連企業は農民から農地を借りることによって、稲作の大規模化、集約化を促進し、6 次産業化方式と農商工連携方式を通して、生産した米を直接に消費者へ流通させていることを解明した。また、鎮内における連携主体の加工場の設立に繋がったことにより、地域内が活性化された。さらに、農地を貸した農民への地代や雇用機会の創出によって、農民所得が向上した。第三章では、農業関連企業は、農商工連携方式を通して、自社開発品種の栽培が普及し、それ以外の品種購入による収入を期待している。農業関連企業は、加工技術開発企業や加工企業とも連携し、加工品技術開発や加工場設立などに要する資金・時間・人材育成などのコストを抑え、利益を増加させていることを解明した。三産融合において、農家の所得は向上し、加工技術開発企業や加工企業の収入が拡大し、丹東市政府は補助金の支出によって、収支がマイナスとなっているが、地域経済の発展と中央政府の政策の実施などの役割を果たしていることを明らかにした。第四章では、約 60%の農家は中国の貧困層に該当し、農業経営である農家は、三産融合に対する認識及び三産融合への参加・経営の意欲が農業経営以外の農家より高いことを解明した。</p> <p>以上の結果から、中国政府では「三農問題」を解決するために、農地流動化の促進と新型農業経営主体の成長を基軸とした三産融合を推進していることを解明した。この三産融合の「三農問題」への効果について、農業関連企業は、農地流動化の三権分離の実施に伴って、農民から農地を借りることで農業経営の大規模化・集約化を推進したこと、連携相手と共に地域の活性化に貢献していること、を明らかにした。また、中国の多くの農民は農業関連企業が主導する三産融合を通して、本来的な職業である農業から被雇用者に転換したことにより、従来の農業所得より高い所得を稼ぐ傾向にあることを明らかにした。さらに、農業関連企業が主導する三産融合への参加により得られた所得に関しては 50%以上の農民が満足していることを明らかにした。</p> <p>農業関連企業が農民の所得や農村の活性化を追求すること、連携相手と協調関係を形成すること、連携相手のコストやリスクを負担することを重要視するのであれば、農業関連企業が主導する三産融合は中国の「三農問題」の解決に大きく貢献すると考えられる。</p>	